

(別紙4(2))

事業所名 グループホームかがやき

作成日 : 令和 2年 4月 14日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	今後、区長や地域代表者の参加の呼びかけとともに、職員間の共有にも取り組んでみてはいかかか。	まず職員の参加が増やせるようにまた地域の方にも促せるように取り組む。	職員が参加できるような業務改善。地域の方との交流を増やす。	6ヶ月
2	6 (5)	玄関の鍵は安全性のためと家族も望んでいるが、身体拘束のない支援をめざす事業所としての考え方も伝えていってはいかかか。	家族に必要性を伝えていく。	推進会議の中で必要性を伝えながら対応していく。	2ヶ月
3	35 (19)	急な停電や予想外の災害などを想定した自主訓練の実施をしてほしい。	火災の避難訓練だけではなく水害、地震の災害時などにも対応できるようにしていく。	職員会議の中で議題に上げまた訓練日を作る。	3ヶ月
4	36 (14)	食事の際のエプロンや車イスから椅子への移乗、居室内の排泄用品の管理等過ごしやすさやプライド尊重の視点を今後も増やしていただきたい。	利用者様の希望があれば車イスから椅子への移動を考える。	利用者様に普段声掛けをさせて頂くなかでソファや椅子の利用を伺う。	1ヶ月
5	45 (17)	入浴日等事業所が設定した状況で支援されているが、その日の利用者の希望を確認する声かけをしてはいかかか。	基本的な入浴日は決めつつも希望の確認など行っていきたい。	入浴日などを伝えつつ体調や気分に合わせて希望されるか確認する。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。